

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典

教 科： 国語 科 目： 古典 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 5 組～ 6 組

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校 標準古典探究 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通してものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとし、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 物語（一）『伊勢物語』『筒井筒』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安朝の庶民にまつわる物語を読み、和歌を中心とした文章展開のおもしろさを味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、滑稽味のある内容について理解を深めようとしたり、過去、完了の助動詞の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明しようとしたりしている。	・指導事項 和歌の修辞法に注意しながら、和歌の贈答や平安社会の文化について理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク	○	○	○	・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	単元 説話（一）『十訓抄』『文字一つの返し』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・指導事項 口語訳のみに頼らず、文章展開の論理性、面白みについて理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク		○	○	・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わう。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 ・積極的に説話を読み、成範の機転とはどのようなことであったか理解を深めようとしている。 ・助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	10
	単元 随筆（一）『徒然草』『公世の二位のせうとに』 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に表れた我が国の中世的なものの見方、考え方、作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	・指導事項 本文内容を踏まえて、当時の社会と無常観の在り方について理解を深める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク ノート ワークシート		○	○	・作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・作品に表れた我が国の中世的なものの見方、考え方に対して、学習の見通しをもって理解を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1

2 学 期	単元 物語（二）『竹取物語』『かぐや姫の昇天』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力を知ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、伝奇的な特徴について、進んで理解を深めようとしている。	・指導事項 内容の読解だけでなく、文学史上の価値も踏まえて理解する。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク	○	○	○	・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、その特徴について、理解を深めようとしている。	○		10	
	定期考査						○	○	1	
	単元 物語（三）『源氏物語』『光る君誕生（若紫）』 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 物語の読解にとどまらず、既習事項と文学史上の繋がりに対する理解を含める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク 古文単語帳 ノート ワークシート	○	○	○	・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	12
定期考査							○	○	1	
3 学 期	単元 故事成語「画竜点睛」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	・指導事項 漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、故事成語に親しむ。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	6
	単元 故事成語「朝三暮四」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	・指導事項 知っている「故事成語」を答えさせ、その背景となる「寓話」に対する理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○	1 合計 70